

与野南小だより

7月号

令和4年7月1日発行 第4号



【児童数】計306名

学校 Web ページ <http://yonominami-e.saitama-city.ed.jp/>

さいたま市立与野南小学校 電話831-0157 FAX831-0122

こだま

校長 鈴木 晴雄

早々に梅雨が明け、太陽は真夏の輝きを見せています。プールでは水しぶきが上がり、子どもたちの笑顔で溢れています。1学期も残り14日。1学期も学校、そして子どもたちを支えていただき、深く感謝申し上げます。

先月は「いじめ撲滅強化月間」。取組の1つとして、各学級が作成した「いじめ撲滅スローガン」を校内テレビ放送で発表しました。緑の葉っぱにかかれた12個のスローガンは、木の幹に生い茂り、階段掲示板に掲示されています。そのうちのいくつかをご紹介します。

- 1年生「友だちの心を傷つけない ～『ごめんね』は ぼかぼか言葉～」
- 2年生「いつでもハッピー みんな なかよし」
- 3年生「その言葉！！ 自分はよくても 君はどう？」
- 4年生「きたない心を きれいにしよう」
- 5年生「その言葉 責任をもって 発言しよう」
- 6年生「協力し合い マイナスをプラスに変えていこう」
- 3くみ『『みんなちがう』 心に花さく やさしい言葉』

さて、子どもたちは、学校や家庭・地域で、どのような言葉づかいをしているのでしょうか。子どもたちの生活場面で、トラブルになる大きな原因の1つに、言葉づかいが挙げられます。何気ない一言が相手を怒らせたり、不愉快な思いをさせたりして、けんかになることが多いようです。たった一言で人は傷つき、たった一言で人は笑顔になります。自分が優しく話しかければ、相手も穏やかに返してくれます。自分が傷つける言葉を発すれば相手は傷つき、周囲の人たちも嫌な気持ちになってしまいます。もちろん自分も傷つくことになるでしょう。言葉は、人から人へ「こだま」します。

こだまでしょうか

金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと	「遊ぼう」っていう。
「馬鹿」っていうと	「馬鹿」っていう。
「もう遊ばない」っていうと	「遊ばない」っていう。
そして、あとで	さみしくなって、
「ごめんね」っていうと	「ごめんね」っていう。
こだまでしょうか、	いいえ、誰でも。



言葉は相手と仲よくなったり、自分の思いを伝えたりする、素晴らしいツールです。あたたかく優しい言葉を使えば、お互いの気持ちが響き合い、まさに「こだま」するのです。一方、私たち大人は、子どもたちの心を癒やしたり、前向きになったりするような言葉がけをしているのでしょうか？大人は子どものモデルです。まずは私たち大人が、あいさつや言葉づかいについて、考えていく必要があります。

人は、人に優しくしてもらうことで、優しさを学んでいきます。優しくしてもらった子どもは、同じことを周囲の人たちにもするようになり「こだま」していきます。

あたたかく優しい言葉が、「こだま」のように南小学校に響きますように。

家庭・学校・地域、そして社会が、あたたかく優しい言葉で溢れますように。